

学校名 熊谷市立奈良小学校
所在地 熊谷市下奈良561-3
電話 048-521-2322

1 本校の概要

本校は、開校 145 年目を迎える、伝統と歴史ある学校である。学校教育目標「確かな学力と豊かな心を持ち、自律する児童の育成」の実現を目指し、日々教育を行っている。地域の方からの支援も絶大で、読み聞かせボランティアをはじめ、様々な学習や行事を支えてくださっている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書週間に係る取り組み
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 1年間の目標設定

1年生 60冊、2年生 80冊、3年生 4000ページ、4年生 4500ページ、5年 5000ページ、6年 5500ページの目標を設定し、達成した児童に賞状を渡すと共に名前を図書室前の廊下に掲示する。

イ 朝の全校読書

毎週月曜日の朝の15分間は自分が興味をもった本を選んで読む活動を行っている。毎週行うことで、読書への関心を高めたり、本を読む習慣を身に付けたりすることをねらいとしている。

ウ 読書月間の取組

①読書ビンゴカード

様々な種類の本に触れさせるために、日本十進分類法を用いたビンゴカードを作成し、本の返却の字に読んだ本の分類番号のところにスタンプをおす。低学年は1ビンゴ、中学年は2ビンゴ、高学年は3ビンゴで達成とし、達成した児童にはしおりをプレゼントした。

②読書の木

図書室で本を返却する度に、学年カラーの葉や果物を渡し図書室にある読書の木に張る。



③図書集会

図書集会で低学年向けの本1冊分の物語を劇にして紹介したり、劇中にクイズを入れたりしながら本への関心を高める。



④図書委員による読み聞かせ

1～4年生対象に図書委員による読み聞かせを行った。

それぞれが、対象学年に合った本を選び、声の抑揚やページをめくるタイミングなどに気をつけながら読む練習を行った。



エ 読み聞かせボランティアひばりの会

月に1度、地域にお住まいのボランティアの方たちが、大きな絵本や紙芝居を使って読み聞かせをしてくださる。1年生～4年生の児童を対象に実施している。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 年間の目標を設定することで、意欲を継続することができ、読書の習慣を身に付ける土台となった。
- イ 読書ビンゴを行うことで、今まで手にとったことのない本を読むことができ、面白い本と出会えたという児童からの言葉が聞こえた。

(2) 課題

- ア 学習に活かせる蔵書を充実させるために、各学年や教科主任から希望を取って学年に応じた授業での活用ができるように蔵書の整備を図ってきたい。
- イ 読書の習慣が身につけていない児童がまだまだ多いので、家庭とも連携を図りながら、取り組みを進めている。

(3) おわりに

今後も、読書の環境を整え、質と量を確保しながら豊かな心の育成に取り組んでいきたい。